

ムギ類赤かび病情報第2号

令和5年4月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

多くのほ場で防除適期（開花始期～開花期）に入っています 確実に開花期防除を実施しましょう

ムギ類赤かび病は、ムギ類の開花期から乳熟期にかけて雨が多く、さらに気温が20℃から27℃のときに、特に感染しやすくなります。

本病における感染予防のための防除適期は、開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間です。

表1を参考には場ごとの生育状況に注意し、**防除適期（開花始期～開花期）を逃さないよう**に表2を参考に防除しましょう。

また、名古屋地方気象台4月13日発表の1か月予報によれば、**向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並みか多い見込み**です。このため、**開花期以降も感染しやすい気象条件が続く恐れがあります**ので、**今後の気象条件を注視し、必要に応じて1回目（開花期）の防除から7～10日後に2回目の防除を実施**しましょう（表2）。

表1 コムギの生育予測（令和5年4月17日時点の予測、地点：安城市赤松町）

品種	播種日	出穂期	防除適期（開花期）
きぬあかり	11月5日	3月25日	4月6日
	11月10日	3月28日	4月7日
	11月15日	3月31日	4月10日
	11月20日	4月3日	4月13日
	11月25日	4月5日	4月15日
	11月30日	4月8日	4月19日
	12月5日	4月10日	4月19日
	12月10日	4月12日	4月21日
ゆめあかり	11月15日	4月5日	4月15日
	11月20日	4月7日	4月18日
	11月25日	4月10日	4月19日
	11月30日	4月12日	4月21日
	12月5日	4月13日	4月22日
	12月10日	4月14日	4月23日
	12月15日	4月16日	4月25日

（参考）

- ・地点は安城市赤松町とし、AgriLook（農業総合試験場、愛知県経済農業協同組合連合会と名古屋大学が開発した、1キロメッシュ気象データから生育予測を可能にした栽培管理支援ツール）による予測結果を記載しています。
- ・開花期は1穂につき数花開花しているものが全穂数の40%～50%に達する日を記載しています。
- ・地域や今後の気温によりムギの生育段階は前後します。ほ場を観察し生育状況の把握に努めてください。また、最新の生育予測は農業改良普及課または農業協同組合にお問い合わせください。

表2 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤（令和5年4月13日時点）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3
	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	散布	3
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	7

（無人航空機用）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機 による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	無人航空機 による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2022.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。